

はじめに

慈悲深き慈愛深い神の御名において

これは人間たちへの神の最終のメッセージである。すべての神の預言者たちはこの世に来た、そしてすべての経典が渡された。預言者達によって渡されたすべてのメッセージを清め、統括し一つのメッセージにする時が来たのである、そしてそれを宣言する時がきたのである、「神によって受け入れられるたった一つの宗教は“サブミッション、服従”である。“服従”とは、我々が神の絶対なる権威を記し、神のみがすべての力を持っているということ；独立した彼以外のどんな存在も何の力も持っていないという事実ひるがえることのない確信を持つことである。それを気づいた自然な結果は、我々の生活と我々の崇拝を神だけに信仰するということである。これは旧約聖書、新約聖書、最後の聖書を含むすべての経典の一番最初の戒律である。

様々な宗教が、発明、伝統、そして偽り、偶層崇拝なる学説によって破壊される中、どの宗教にも、“サブミッター、服従者”がいるであろう。それらの服従者は、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教、ヒンズー教、仏教、またはその他。これらの服従者は、神によって認められているたった一つも宗教を共有に任命している。この本のはじめのテーマでも強調したように、神のみを信仰し、神以外の偶層を置くことのないすべての服従者は、神の永遠の王国にあがなえる（2：62）。真の服従者の判断基準は、コーランの中に、逆らうことが何一つ見つからないことである。

この経典の到来に伴い、神の世界へのメッセージがいま完成した。私たちは今、長い間待ち続けていた最も重要な質問の答えを受け取ったのである。— 我々が誰であるか、我々の人生の目的、我々がこの世にどのように来たのか、我々はここからどこへ行くのか、どの宗教が正しいものなのか、生物進化論か、創造なのか、などである。

中には不思議に思う人もいるであろう、「なぜ神は彼のメッセージを完璧にし、統一するのを今まで待っていたのか？ 完璧な経典を受け取らなかったアダム以来のすべての人々は？」コーランはこの質問にたいして20：52に答えている。これはおよそ簡単な統計値であり、創めから今日までの世界の人口は70億人を超えていない。今日からこの世の終わり、2280 A.D.（西暦2280年）（Appendix 25）の世界人口の総合は750億を増すと見積もられている。ということは、非常に大多数の人々は神に清められ、統括されたメッセージを受ける運命にあるということになる。

 今（1990年）から世界の最終日まで（2280年）の世界人口

黒のところはアダム以来の人口を示す

創世記の前

すべては何十億年前に始まる、神の高階級の創造物の一人であるサタンが、神以外の独立した神として主権をまかなうことができるなどという、傲慢な考えを發育した。絶対なる神への権威へのこの挑戦は、不敬だけでなく、誤りであった。サタンは神のみが神としての能力を所有しているということ、そして彼が気づいたよりもっと多くの神格があることの実実に無知であった。それは自我（エゴ）であった— 傲慢さが無知によって増大したのである。それがサタンに彼が神として主権を世話し、病気、貧困、戦争、事故、そして災難なしに営むことができると信じたのである。神の創造物のほとんどの大多数はサタンに反対した。しかし、利己的なほんの少数、数十億程度が彼に賛成した。そのため、重大な論争が天国社会で激発した。（38：69）道理に合わない反抗者たちの神の絶対なる権威への挑戦が衝突した、そしてそれは最も合理的に解決された。神は反抗者たちが、彼らの罪を認めるため、そして彼に服従するための十分な変化を与えた後、中核的反抗者を地球という名の宇宙船へ追放することに決めた、そし

て彼らに罪をあがなうための機会をまとも与えたのである。

もしあなたが飛行機を飛ばすことができると主張した場合、そのあなたの主張を試験する一番いい方法はあなたに飛行機を与え、それを飛ばしてもらうことである。まさにそれはサタンが神になれるという主張にたいして神が定めた答えである；神は彼をととても小さく点在する地球の一時的な神にしたのである。（2：30、36：60）。サタンに賛成したものは、彼らの自我を殺し、神の完全なる権威に服従する機会を与えられた。大多数のこの罪深い創造物達はこの機会の利点を活用する間、ほんの少数である1500億の創造物はこの申し出の利点を活用することに失敗したのであった。（33：72）

白い部分はサタンに賛成しなかった大多数を示す

灰色は、悔い改め、服従した大多数を示す

この天国の社会での口論は神の創造物を違ったカテゴリーの分類へと導いた。

天使

神の完璧なる権威に対して決して質問をしなかった創造物は天使と分類された；彼らは神のみが神としての能力と資格を持っていることを知っていた。大多数の神の創造者達、数えきれない数が、このカテゴリーにはいつている。天使の数は非常に莫大であり、天使達さえその数を知らない；神のみが彼らの数を知っているのである。

動物達

天使たちは、反抗するものと彼らのリーダーは神の王国から追放されるべきだと提案したが、最も慈悲深いお方は、その反抗者たちに彼らの罪を非難し、悔い改め、彼の完全なる権威に服従する機会を与えることを望んだ。（33：72）上の図に示したように、反抗した大多数は彼の王国に再度入れるように神の慈愛い深い提案の利点を活用した。彼らは彼らの自我を殺し、彼らの罪の償いのためにこの世に来て服従的任務を行うことに同意した。この服従的任務をこの世にて行うことによって、これらの創造物達は神の永遠の王国に戻れるのである。馬、犬、木、太陽、月、星、変形体や知恵遅れの子供たちは、彼らの罪を非難し、ざんげをした知的な創造物なのである。

あなたは天国と地球のすべてが

神に平伏していることに

気がつかないのか；

太陽、月、星、山々、木々、動物たち、

そして多くの人々が？

しかしながら多くの人々は、天罰が運命づけられている。（22：18）

星と木々は平伏している。（55：6）

馬は自我が無い。馬の飼い主が豊富だろが貧乏だろと、背が高かろうか、低かろうか、太っていようが、痩せていようが、若かろうが、年取っていようが、馬はそれらすべてに使えるであろう。犬は自我が無い。飼い主がどんなに豊富であろうが、貧乏であろうが、飼い主にしっぽを振るであろう。太陽

は、神によって定められた時間きっちりに毎日昇り、そして沈む。月は地球の周りの軌道にそってほんの少しもずれることなく追う。人間の体 — 一時的の衣 — は地球に属する；だから、それは服従者（サブミター）なのである。心臓、肺、腎臓、そして他の臓器は我々のコントロールなしに機能を行っている。

本格的な中心部の反抗者 — 人間たちとジン達 — 彼らの罪を非難することを拒否し、サタンの主張に政治的意思表示を証言することに任意した。神の完全なる権威に服従することに失敗し、のち服従する機会をあたえられたこれらの利己的な創造物は2つに分かれた。サタンの主張に納得しきれなかった半分は、人間と分類された。彼らはサタンの主張に疑いを抱いていたが、彼らは神の完全なる権威に、断固たる態度をとることに失敗した。自我がこれらの創造物を全能なる神を感謝することを妨げた、そしてその自我が、彼らに新たな機会が与えられたとき、服従することを妨げたのである、そしてその自我が、我々ほとんど、神の王国への罪のあがないとの間に、立ちはだかっているのである。だから自我を殺しなさい “という戒律はコーランの主要な戒律の一つなのである。（2：54）

ジン

サタンの主張をより親密に学び、大きな自我を表したもう半分の罪深い創造物は、ジンと分類された。神の計画で、一人の人間の生まれた時から死ぬまで、一人のジンがつけられた。ジン伴侶（はんりょ）は、サタンを代理し、常に彼の主張を進めるのである。（50：23、27）ジンと人間の両方は、彼ら自身に再一度学ぶため、彼らの利己主義を非難し、神の完全なる権威に服従することによって彼らの罪をあがなうための貴重な機会をこの世で与えられたのである。一人の人間が生まれる度、ジンが生まれ、その新しい人間につきそう。コーランから習うように、ジンはサタンの子孫である。（7：27、18：50）一人のジンが生まれ、一人の人間について時、そのジンはその人間が死ぬまで常にその人間の伴侶となる。ジンはその後自由になり、2～300年生き続ける。人間もジンも神のみを崇拝することを義務付けられているのである。

神はロボットを欲しくない

38：69に示し、表現している、天国社会での論争は、神の創造物が選択の自由を持っていることを証明する；彼らは彼ら自身の精神を持っているのである。神の創造物の中のほんの少数しかいない反抗者達は、神の創造物が彼に仕えるのは彼らが神の永遠の壮大さに感謝する素晴らしい事実を強調するためである。反抗なしに、自由というものが、神の創造物への神の恵みであるということは、決してわからなかったであろう。

最も慈愛深く、最も慈悲深いお方

我々のこの世の次元でさえ、どんな企業も社員に忠実で企業の繁栄に専念することを期待する。もし社員がその企業に完全に専念していなかったり、忠誠がわかれているとわかった場合、彼は直ちに解雇されるであろう。人間達とジン達はサタンの見方をし、さらに彼らの反抗に対して考え直すための神からの提供を断ったため、天使達はサタンと彼の仲間を神の王国から追放することが当然とした（2：30）。彼は我々の罪を非難し、我々の罪をあがなうためにもう一度この機会をくれたのである、それは神の多大な慈悲であった。

この非常に慈悲ある計画を実行するに当たって、神は「死を創った」（67：1-2）。この神聖なる計画は、反抗者を彼らが天国の争いを思い出すことのできない他に実在させた。その状況下であるこの世は、人間とジンは神のメッセージとサタンのメッセージを受け取り、そして自由にどちらでも選ぶことができる。そして彼らの自由な意思によっての決議が、彼らを神の王国へとあがめられるか、またはサタンと一緒に永遠に追放されることになるのである。

サタンの一時的な主権

サタンの計画した主権、取るに足らない述べを強調するため、神は10億の銀河、10億兆の星を光の速さで回転する巨大な宇宙の中に創造した。もし我々が光の速さで太陽（93,000,000マイル）に向かって旅をするなら、私達は8分でそこに着くであろう。もし私たちがそのままいけば、光の速

さで5万から7万年後、私たちの天の川銀河の終わりに行き着くであろう。一番近い銀河に行くには、光の速さで200万年かかるであろう、そして我々の宇宙には最低二十億の銀河がある。最も強力な望遠鏡を使って見る地球は、我々の銀河の端からは全く見る事はできない。まるで我々の宇宙が十分に大きくないかのごとく、神はもう6つ私たちの宇宙を取り巻くしかも大きな宇宙を創造した。(2:29、67:3)

それから神はサタンに、宇宙の最内層にある最小なる極めて小さな誇りの大きさのもの、地球が彼の主権であることを伝えた。その宇宙には人間とジンが置かれ、彼の物理的存在が耐えられないことを命じた。(7:143)だから、神の完全なる知識と支配の下で、サタンは彼の極めて小さい王国を神の物理的存在から遠く離れたところから支配している。そして反抗し、罪を悔い改めたものたちの数は非常に多く、地球がそれらすべてを対応することは不可能であった。そのため、数えきれない十穰(じょう)の創造物は太陽系外空間に置かれた。

アダムとイブ

最初の人間の体は神の命令によって神の天使たちによって形作られた(7:11)それから神は最初の人、アダムをその体に割り当てた。アダムとイブの空の体(魂の無い)がこの地球存続する間、彼らの魂、本当の人は、神の命令を守っている間、天国に存続していた。彼らがかわりにサタンに従った時、彼らは私たちすべての持つ人間性の欠如を映し出した、そして直ちにサタンの王国へ(現実的な)地球へと所属した - “彼らの体が彼らに明白になった”(7:20、20:121)。後は歴史のとうりである。

サタン：すべてのジンの父親

ジン達と人間達をテストするために、サタンは一人の人間が生まれるたびに、生殖を命じられた。先にも記したように、一人の人間が生まれるたびに、その人間に常に伴侶としてつれあうその人間のジンが生まれる。人間誰も、生まれてから死ぬまでおなじ体に住むサタンの代行者によって絶え間なく説得を受ける。サタンの代行者はサタンの視点をその人間に納得させようとする：神だけでは十分ではないと。最後の審判の日、ジン代行者は人間の片割れにたいして証人として使える。(43:38; 50:23、27)。多くのジン代行者たちは人間によって神の視点に変わる。

神は準備なしに人間を放ちはしなかった。彼らの神への冒とくで言動にたいして考え直す彼らの最後のチャンスで人間たちを助けるために、人は、我々の主と主人は誰でもない神のみであるという、本能的知識を持って生まれた。ジンはこの本能的知識は与えられなかった、しかし彼らは、最内層にある宇宙にて神の印を学ぶために、もっと長い寿命と偉大な能力を与えられた。彼らはサタンの視点を代行しているため、彼らの自然本能は強く多神教を好むほうにかたむく。神のみに服従する我々のもって生まれた本能に加えて、神は我々を罪からあがなうための助けに、使者達を送った。これらすべての要素を見ると、許されることのないたった一つの犯罪は(もし死ぬまで続けると)偶像を崇拜すること：神以外の何かがある力を持っていると信じるということという事実に私達は感謝することができる。

40年の恩恵の期間

人間はこの最も重要な決断—サタンの視点を主張するか、神の絶対なる権威を主張するか—を決める前に、40年間という、学び、見学し、見直し、思案し、そしてすべての視点を調査する期間を与えられている。誰でも40歳になる前に死ぬものは神に選ばれたもので、神のみが知る状況によって救われる。誰でも40歳前に死ぬものは天国に行くのである(46:15、Appendix 32)。神の多大な慈悲が明らか事実なのだがコーランを信じるものにとってもこの情け深い神聖なる法を認めることは難しい。

神の使者は私たちを救うための神からの機会という良い知らせを伝えた、そして彼らは恐るべきサインで支持されてきたのである。モーゼスは、ファラオに行った時、彼の杖が蛇に変わったような奇跡で支持された。キリストが神の許しを受けて、泥から生きている鳥を創ったり、神の許しをうけて、ハンセ

ン病や盲目を治し、神の許しを受けて、死人を生き返らせた。モハメッド、最後の経典を持ってきた神の預言者は、そのような奇跡は公開しなかった（10：20）。コーラン自体がモハメッドの使命を支える奇跡であった（29：50-51）それは14世紀の間モハメッドからコーランの奇跡を区別する神聖な知恵であった。今、私達はコーランの数学的奇跡がきわめて重要な次元であることがわかる、もしこの奇跡が彼をとうして掲示されたとしたら、何百万人の人々がモハメッドを神の化身として服従したであろう。

真実性の証明

物理的、実体的、反論のできないもの

コンピューター時代の到来によって、我々はコーランの数学的コード、74：30-35に記すように、“素晴らしい奇跡の一つ”を発見した。以前の使者たちに与えられた奇跡は時間と場所に限りがあったが、このコーランの奇跡は、永遠である。モーゼスやキリストの奇跡は少数の人達しか証言することができなかったが、このコーランの奇跡は誰にでも、いつでも証言することができる。なおその上、コーランの奇跡はすべての過去の奇跡を記録し、証明する（5：48）。

Appendix1にも詳述してあるように、コーランの数学的奇跡は数字19を基礎にしている。読者にこの恐るべき奇跡を分かち合うため、”神“という語が、英語のテキストで大文字かつ太文字で印刷されている、そして発生の累積数がそれぞれのページの左下に示されている。この最も重要な語の発生の合計はコーランの最後の2698と示されている。この合計は19の倍数である。その上、”神“という語が発生するところと与えてある節の番号をたすと、その合計は118123となり、19の倍数となる（ 19×6217 ）。その”神“という語が発生するところの節の番号をたした累積はそれぞれのページの下右端に記してある。これら単純な物理的事実は、読者によって簡単に確かめることができる、そしてそれらは、コーランの数学的構成が、極度の人間の自然を超えたものであることを証明するに満たすことがわかる。

語“神”の合計カウント (各ページの左下に示している) 2698 (19×142)	節の番号の合計 (右下に示している) 118123 (19×6217)
------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------

読者によって確かめられる真実の証明

コーランの並外れた数学的構成に付け加えて、私達は多くの数のコーランの事実を見つけた、それは現代科学によって証明されたもの、または学説されている。

地球は卵型である（39：5、79：30）

地球は静止していない、つねに動いている（27：88）

太陽は光の源であり、月はそれを反射している（10：5、25：61、71：16）

我々が空へ向かって上っていくと、それと比例した酸素が減少する（6：125）

宇宙大爆発論（ビッグバン論）は確証されている（21：30）

宇宙膨張論が確証されている（51：47）

宇宙は気体の集結から始まった（41：11）

与えられた種類の中での進化論は事実である、進化論は神聖に導かれた過程である。（21:30, 24:45, 32:7-9, 18:37, 15:28-29, 7:11, 71:13-14, Appendix 31).

人間の精液は赤ん坊の性を決める（53：45－46）

意味のないことは全くない

コーランに意味のないことが不在であることは奇跡と同様である。これはコーランが掲示された時代、無学と迷信が支配していた時代にとってとくに意味深い。例えば、伝統あるモスリムの中で最も敬意された解釈は、イブ カティア。使徒が去って何百年も後書かれたこの有名な参照文献は、地球は巨大な鯨の上に立っている巨大な雌牛4万の角にはこぼれている。（イブ カティアの解釈68：1）

1975年の近年でも、コーランが掲示された同じ場所、サウジアラビアのメディナのイスラム大学の学長、シェイク、アブドル、アゼイズ、ベン、バズは、地球は平らで、静止していると宣言している。

（挿入画面を見てください）！！

完璧な幸せ、今そして永遠に

人間の最も理解しにくい目的のひとつは、「幸せ」である。コーランはこの人生と永遠で完璧な幸せを達するための秘密を公開している。幸せとは限定された精神的な豊かさであるとコーランから学ぶ。ということは体が欲しがるすべての世俗的成功（せぞく）—お金、権力、名声、その他は、しばしば不幸せな人に所属する。幸とは、真の個人の精神の成長と進歩の度合いに完全に左右される。コーランはこの世と永遠の来世で、体と精神両方が完璧な幸せに向かえるよう、細かな計画を与えている。

（Appendix 15）

この証明された經典中の多くの節で、神自身が、今そして永遠の信者の幸せ保証している。

全く、神の味方は、何も恐れることはないし、何も悲しむことはないでしょう。

彼らは信じ、正しい道を行く者。

彼らには、この世と来世の幸せ。

それが神の神聖なる法である。

これは本当の勝利である。（10：62～64）

すべての信者には、たった一つの認められる宗教がすべてである。

創造者の最後のメッセージに予想されたように、コーランの重要な課題の一はすべての信者の統一の呼び掛けそして神の使者達の区別の禁じを繰り返していることである。もし服従の目的が一つで同じであれば、信者の中で完璧な統一ができる。人間の因子である、権威のない人間達、例、キリスト、モハメッド、そして聖人などへの熱心さ、偏見さが識別、嫌悪の原因になり、謝り導かれた信者たちの中で苦い戦争となる。人間の因子である。正しく道かれた信者は彼と彼女の宗教がどのように呼ばれようと他の信者が神のみに（心身）をささげているのを見ると喜ぶ。

確かに、それらの信者は、
ユダヤ教、キリスト教、改宗者、
誰でも

- (1) 神を信じ
- (2) 最後の日を信じ
- (3) 正しい道を歩むものは

彼らの主から報酬を受け取るであろう、
彼らは何も恐れることはなく、なにも悲しむことはないでしょう (2 : 6)

神の聖約使者

Appendix2 に詳細があるように、この本の出版は、新しい時代の到来を記している—その時代は神の伝言が彼の預言者達によって伝えられた神のメッセージが一つにまとめられた時代である。神の一つの、たった一つの宗教、「サブミション」、は他のすべての宗教を圧倒している (9 : 33, 48 : 28, 61 : 9)。今日の破壊された宗教、ユダヤ教、キリスト教、ヒンズー教、仏教、イスラム教は、簡単に全滅するであろう、そして「サブミション」が普及するであろう。これは人類の単なる夢想または、人の群集ではない：これは神の神聖なる法である

(3 : 19, 9 : 33, 41 : 53, 48 : 28, 61 : 9, 110 : 1)

ラシャドカリファ

ツッサン

ラマダン26、1409

この最初の出版の、最後のドラフトは、1409年、天命の夜に終了した。その日、月、そしてこの日の年をたすと、1444になる、または $19 \times 19 \times 4$ 。(ラマダン26, 1409 : $9 + 26 + 1409 = 1444$)